

第2回オープンサイエンスデータ推進ワークショップ － 研究データの保存と公開 －

プログラム

日時： 2015年12月7日(月) 13:00 - 17:30 (懇親会：18:00-20:00)

12月8日(火) 10:00 - 16:30

場所： 京都大学理学研究科セミナーハウス

- ・(*)印は招待講演 30分 (講演25分+質疑応答5分)
 - ・それ以外は 20分(講演15分+質疑応答5分)
- を目安でお願いいたします。

12月7日(月)

- 12:00－ 受付開始
- 13:00－13:10 趣旨説明・他
- 13:10－13:30 オープンサイエンスとデータ共有の最近の動向について
村山 泰啓 (情報通信研究機構)
- 13:30－14:00 (*) WDS Publishing Data: the Building Blocks
Mustapha Mokrane (World Data System-
International Programme Office)
- 14:00－14:30 (*) 産業技術総合研究所におけるオープンデータの現状と方向
小島 功 (産業技術総合研究所)
- 14:30－14:50 休憩
- 14:50－15:20(*) 研究データマネージメントのための情報環境整備
梶田 将司 (京大・学術情報メディアセンター)
- 15:20－15:50(*) リポジトリソフトウェアWEKOの活用事例とオープンサイエンスへの展開
山地 一禎 (国立情報学研究所)
- 15:50－16:20(*) From Project Related Data Management to Sustainable Data
and Knowledge Services - Berlin Declaration on Open Access
to Knowledge in the Sciences and Humanities -
Bernd Ritschel (GFZ Potsdam)
- 16:20－16:40 分野を越えたデータ利用における実践的体験
渡邊 堯 (ICSU WDS-IPO)
- 16:40－17:00 オープンサイエンスのジレンマ～研究者共同体のインセンティブと
結果オープン性へのモチベーション～
北本 朝展 (国立情報学研究所)
- 17:00－17:30 コメントと補足
林 和弘 (科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター)
- 18:00－20:00 懇親会 (北部生協2階)

12月8日(火)

- 09:30ー 受付開始
- 10:00ー10:10 本日の予定・他
- 10:10ー10:40(*) オープンデータによる学術のアンラーニング
岩田 修一 (事業構想大学院大学)
- 10:40ー11:10(*) 研究データ管理：図書館ができること・すべきこと
大園 隼彦 (岡山大学)
- 11:10ー11:30 休憩
- 11:30ー11:50 データジャーナルでリポジトリを繋ぐ：極地研での検討状況紹介
南山 泰之 (国立極地研究所)
- 11:50ー12:10 電離圏全電子数データベースを例とした研究者グループによる
研究データの公開・維持について
齊藤 昭則 (京大・理)
- 12:10ー12:30 オープンイノベーションへの期待
岡山 将也 (日立コンサルティング)
- 12:30ー12:50 伊能忠敬の国宝磁針測量方位角帳「山島方位記」の市民開始の文理学際融合
解析の現実 -地磁気・歴史地理での Open Science-
辻本 元博 (日本地図学会員)
- 12:50ー13:40 昼食
- 13:40ー14:10(*) データサイテーションマイニングによる科学データの利活用分析 (仮題)
是津 耕司 (情報通信研究機構)
- 14:10ー14:30 分野を超えた協働支援環境ubiDIAS
西村 一 (海洋研究開発機構)
- 14:30ー14:50 防災研究所附属地震予知研究センターの地震・地殻変動観測データ
加納 靖之 (京大・防災研)
- 14:50ー15:10 休憩
- 15:10ー15:30 IUGONETの活動によるデータ公開と利活用の状況の変化
梅村 宜生 (名大・ISEE)
- 15:30ー15:50 地球研アーカイブズの現状と課題：
学際・プロジェクト研究成果の収集・公開・利活用
安富 奈津子 (総合地球環境学研究所)
- 15:50ー16:10 研究室あるいは研究者個人レベルのデータセットの保存と公開
家森俊彦 (京大・理)
- 16:10ー16:30 総合討論・他

(終了)